つるぞの真佐彦

笑顔と真心

＝真風（県政活動報告）＝

ごあいさつ

この一年余り、皆様方におかれましては、職場で、日常生活の中で、新型コロナの影響を受け大変な思いで過ごされたことと、心からお見舞い申し上げます。

昨年七月、豪雨災害やコロナ禍の中、県議会に、復帰させていただきました。

本当にありがとうございました。

まずは災害対応に全力を注ぎ、各現場に赴き早急な復旧への取り組みに努めました。

現在、梅雨前完工に向け、急ピッチで復旧が行われています。

新型コロナ対策についても、所属する県議会環境厚生委員会において、国の地方交付金を活用した補正予算、専決処分予算等の審議を行い、効率的活用が図られるよう努めました。

九月議会・三月議会の一般質問で、地域の課題、要望を受けた問題点などを中心に質問しました。ここに、活動の一部をご報告させていただきます。

今後も現場中心の姿勢を貫き『県民の声を形にしてまいります』更なる御指導ご鞭撻よろしくお願いします。

地域の要望を県議会で知事等へ質問

県議会　＝令和二年九月＝

質問

県内で新型コロナクラスターが発生し、豪雨災害の中、実施された選挙戦で見えてきた本県の新たなる最優先事項、課題について。

答弁　知事

感染防止対策をしっかりと講じ、県民の皆様の安心・安全と経済・社会活動の両立を図ること、離島における交通、あるいは医療等の課題解決に向けた、各般の施策や災害への備えを一層強化する必要など、コロナ禍豪雨災害が発生する中での選挙戦で得た体験を、今後の県政運営にしっかりと生かしていきたい。

質問

ソフト対策・避難行動・防災情報・流域治水対策等、河川行政について。

答弁　土木部長

令和二年七月の豪雨により被災した百次川及び勝目川への対応については、大型土のうによる河川堤防の締切りを速やかに実施するとともに、治水上支障のある樹木の伐採を実施。

隈之城川の佛生橋にある水位計に加え、本年度、新たに簡易型河川監視カメラを設置し、情報提供の強化を図る。

河川改修や雨水貯留浸透施設などの整備、既存の利水ダムによる事前放流、浸水被害のおそれのある地域の土地利用規制などの対策について、流域の関係者が一体となって総合的に取り組む。

三か年緊急対策の後、さらなる国土強靭化予算が確保された場合は、積極的な取り組みを要望。

質問

補正予算編成における工夫や、編成を踏まえた本県財政の課題、国の交付金活用等について。

答弁　知事

県民を守ることを最優先とした感染症拡大対策の実施や、新型コロナウイルスの影響を克服する強力な産業支援のため、新型コロナウイルス感染症対応、地方創生臨時交付金等を積極的に活用、本県は自主財源に乏しい脆弱な財政構造となっていると改めて感じた。

鹿児島の基幹産業である農林水産業、観光関連産業のさらなる振興、地域を支える人材の確保・育成や、技術力の高い製造業や、情報産業などの新たな産業の創出などの取り組みを通じて、鹿児島の稼ぐ力の向上に努める。

質問

地方移住への関心が高まっているこの機会をとらえ大都市集中是正の動き、その対応について。

答弁　知事

鹿児島に今ある地域資源をさらに磨き上げ、若者を惹きつけるような仕事を地域につくりだし、若年者等の県内定着と郷土教育の充実により郷土愛を育み、地域の良さや課題を認識し、目的意識を持って学び、一定の経験を積んで帰ってくるといった人も増やしていきたい。

質問

横断歩道・実線表示の予算と実績の推移、来年度以降の取組方針について

答弁　警察本部長

横断歩道および停止線の実線表示は、昨年度一億六五〇〇万円、今年度は一億二三〇〇万円である。

補修実績は、昨年度は横断歩道約七十km、実線表示約八十km、今年度は横断歩道三十六km、実線表示約十八kmである。

質問

道路の橋梁や舗装の老朽化対策について

答弁　土木部長

「防災・減災、国土強靭化のための五か年加速化対策」では修繕が必要な橋梁や路盤が損傷している舗装の対策を集中的に実施する。これまで一五七橋に着手し、来年度は新たに五十二橋に着手する。

質問

県管理河川における寄洲除去や伐採への取り組みについて

答弁　土木部長

寄洲除去及び伐採は反乱を未然に防止する重要な対策で、緊急浚渫推進事業債を活用し今年度と同額の十六億円を計上している。このうち十一億二千万円は梅雨期前の防災対策として現在、寄洲除去や伐採を進めている。

「防災・減災、国土強靭化のための五か年加速化対策」を活用し今年度補正予算に約三十八億円を計上し、洪水氾濫を防止する河道掘削土をする。

質問

老朽化が進む農業施設の防災・減災対策について

答弁　農政部長

農業用ため池や、排水路等の農業用施設を管理する市町村、土地改良区等と協議しながら事業化に取り組んでいる。

予算には約七十九億円を計上している。「防災・減災、国土強靭化のための五か年加速化対策」の予算では前年予算比一二五％となる約一〇六億円を計上し、重点的に推進する。

質問

次期水産業振興基本計画の重点施策について

答弁　商工労働水産部長

次期水産業振興基本計画では、「漁業の担い手の育成・確保」「水産物の流通、加工・販売」に重点的に取り組む。まず、漁業学校における就業支援や新米漁業者みまもり隊の活動の支援、ＩＣＴを利用した海況や漁場の予測技術を開発する。高付加価値化や量販店、ネット販売など国内における新たな販路開拓、海外市場のマーケット調査や、量販店向けの新たな加工品開発支援、輸出商社の販売促進の支援などに取り組む。

鹿児島の漁師のＰＲ動画作成や、中核的漁業者で構成する漁業士会が行うイベントに対する助成など、漁業のイメージアップを図る取り組みを行う。

質問

中国の「海警法」施行に伴う漁業者の生命と安全な漁業を守るための取り組みについて

答弁　商工労働水産部長

尖閣諸島周辺では、指宿漁協等の所属漁船が瀬物一本釣り漁業等を営んでいる。中国公船による接近・追尾を受け、操業に支障をきたすことから、現在、尖閣諸島周辺以外の海域に移動して操業している。県としては、国に対し本県漁船の尖閣諸島周辺等での操業予定の情報を提供するなど、国と連携を図り、本県漁船の安全操業の確保に努めている。

私の思い　知事への結びの要望

新産業創出室設置など知事の思いは理解できるが発信力が少し弱い感じ。予算執行の中で真価がしっかり発揮されるものと期待する。

水産振興に関する条例の制定は、議員各位のご理解を得て、生産額第五位の県に資するものになるよう取り組みを進めたい。

この一年余り、本県を含め、世界中が新型コロナウイルス感染症の「対応・対策」に追われてきた。現在はワクチン争奪戦が始まっている。

ワクチンの世界的動きの交渉を見ていると、日本国いわゆる需要側と、外国の製薬会社供給側との優劣が明確に表れている。

これらを、私たちの命の源である食糧に当てたらどうでしょうか。今の国内自給率で本当にいいものでしょうか。

さらに日常安心して当たり前のように生活している、国の安全保障に移し替えてみたらどうでしょうか。明々白々である。

知事にはしっかりと食と安全の基盤づくりに取り組んでいただくよう、強く要望する。

笑顔と真心

つるぞの真佐彦事務所
■市比野事務所
〒八九五－一二〇三
薩摩川内市樋脇町市比野二三八九－一
電　話　〇九九六－三八－一六五一
ＦＡＸ　〇九九六－三八－一六五二

質問　製造業を取り巻く環境の変化を踏まえ、知事が言う鹿児島の活路をどの分野に求めて稼ぐ力を引き出そうとするのか。

答弁　知事　本県製造業が長期的に持続して発展するためには、既存の産業の技術力のアップや、それに伴う高付加価値化を進めるとともに、地域経済を牽引する中核企業に対する研究開発や、生産性向上対策の支援、ヘルスケア産業や、今後の５Ｇや Society5.0 に対応した情報産業など新たな産業の育成を図り、稼ぐ力を引き出していく。

質問　鹿児島県産農畜産物輸出促進を、今後どのように展開されるのか。

答弁　知事　農畜産物の輸出促進、輸出先国の経済活動の回復状況を踏まえた戦略的なＰＲ・販売促進活動、輸出先国のニーズや規制に対応した輸出向けの産地づくり、施設整備への支援など、反転攻勢に向けた取り組みを積極的に展開していく。さらに、県内輸出商社の海外での営業活動への支援を開始した。

本県は、和牛日本一の鹿児島黒牛やかごしま黒豚、お茶、サツマイモ、ブリ、カンパチなど、官民一体となって、生産体制や販売力の強化に戦略的に取り組んでまいりたい。

質問　お茶の振興について

答弁　農政部長　国は、高収益作物次期作支援交付金を措置しており、十アール当たり五万円が支給された。有機栽培茶の生産拡大に向けた団地化や、有機ＪＡＳ認証取得の推進、抹茶加工施設の整備促進に取り組む。本県の抹茶の輸出額は、米国、ＥＵを中心に、令和元年度で前年比百二十％の約二億二千万円となっており、着実に増加。

質問　鳥獣被害対策及び中山間地域の振興について。

答弁　農政部長　野生鳥獣による農作物の被害は、前年度と比較して約一億五千万円増の約五億三千万円となった。県では、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、集落ぐるみで被害防止研修会の開催や、電気柵など侵入防止柵の整備、ＩＣＴを活用したわな等、捕獲機器の導入、イノシシ、シカ、サル等を捕獲した場合、捕獲活動経費の支援を行う。

予算措置　令和三年度は前年比百二十％　六億千五百万円

質問　甑大橋開通式に出席された知事の感想と今後の抱負、開通後の効果について。

平成七年から十回目の質問

答弁　知事　甑大橋を利用し、上甑島から給水車が派遣されるなど、効果が発揮された。今後も、離島の防災や医療体制の向上、基幹産業である水産業の振興など、地域のさらなる発展に寄与するものと期待。

県内最長の橋となった甑大橋そのものを活用したインフラツーリズムなど、新たな魅力ある観光ツアーの開発も可能となり、観光客の増加も期待する。

質問　長浜から芦浜間の改良促進に向けた意気込みと、七月豪雨、台風十号で陥没した二か所、手打地区、薗牟田地区の道路災害復旧の見通しについて。

答弁　土木部長　県道手打薗牟田港線は本年度から事業に着手したところであり、現在、具体のルートについて検討。

本格的な復旧工事につきましては、手打地区については来月上旬、薗牟田地区については十二月に、国の災害査定を終え、順次工事を発注する予定であり、一日も早い復旧に向けて取り組んでいく。

質問　特定離島ふるさとおこし推進事業は、対象地域にとって大事な事業であると思いますが、県はどのように考えているか。

答弁　土木部長　甑島におきましては、林道、簡易水道、消防車両、恐竜化石展示室の整備など、生活基盤の整備や産業の振興などの面で大きな成果を上げている。

県議会　＝令和三年三月＝

【家畜防疫対策について】

質問　高病原性島インフルエンザの発生に伴う、防疫対応の問題点とその対応について

答弁　農政部長　今回の発生農場では七十二時間以内に防疫措置を完了した。

今後の対応として

①作業開始前の農場内の状況確認や関係者による工程会議の開催の徹底

②拡声器・ホワイトボード等の活用による情報伝達の徹底

③テントの防寒対策の強化等について改善する

九州・沖縄・山口の九県で「家畜防疫連携会議」を設置し

①発生時の情報の共有

②消毒ポイントの効率的な設置

③発生時の家畜防疫員・防疫作業員等の協力体制の構築など、防疫連携の強化に取り組んでいる。熊本県、宮崎県と「県境防疫連絡協議会」を設置し、防疫対応の優良事例を共有するなど、実務レベルでの情報交換を実施している。

質問　全養鶏農場に対する殺鼠剤配付の取り組みについて

答弁　農政部長　百羽以上の家きんを飼養する約九百の農場に対して、家畜伝染病予防法に基づくネズミの駆除を指示するとともに、殺鼠剤を配付している。効果的なネズミ駆除の方法について研修会を実施した。

質問　養豚農場における野生動物侵入防護柵や、防鳥ネットの整備状況について

答弁　農政部長　野生動物侵入防護柵は、二月末までにその約九割が設置を完了し残りの農場も、三月末までに完了する見込み。防鳥ネットは、県内の二一八農場が整備を進めている。

質問　家畜保健衛生所の重要性と始良家保の移転・整備に対する県の考えについて

答弁　農政部長　①近隣諸国において口蹄疫やアフリカ豚熱などの海外悪性伝染病が、国内においては、高病原性鳥インフルエンザや豚熱が続発している。これらの家畜伝染病が発生した場合、本県の畜産業や関連産業に多大な影響を及ぼすことを懸念している。家畜保健衛生所は、家畜防疫で重要な役割を担っている。

②始良家畜保健衛生所は、建設後五十三年が経過し、施設等の老朽化や混住化が進んでいる。今後、移転・整備に向けて候補地について検討していく。

質問　食品関連産業の更なる振興と、中核企業の育成に向けた具体的取り組みについて

答弁　商工労働水産部長　本県製造業は、独自の技術等を活かしきれていない企業もあるほか、新たな分野への参入機運の醸成、デジタル化による生産性の向上などの課題がある。今後は、新たに設置する「新産業創出室」で食品関連産業を含め新産業創出に取り組む、県内企業の掘り起こしから起業家、販路拡大まで各段階に応じた研究開発支援や、専門家によるコンサルティングなどの支援を行う。

中核企業は、地域経済を牽引する企業であることから育成を図る必要がある。

このため、国・県の研究機関や大学、支援機関等との連携による技術支援や新製品・技術開発、ＩＴを活用した生産体制の構築等に係る経費の補助等を行う。

質問　異業種間連携を含む新産業創出に向けた県の取り組みについて

答弁　商工労働水産部長　新規事業の展開や地域の課題解決による新たな産業創出が求められている。地域課題を解決するために、ＩＴ企業や製造業などが参加する意見交換会を開催し新産業創出につながるアイデアを出し合う取り組みを行う。

【生活に直結した社会基盤の整備について】

平成三十年第三回定例会での企画建設委員会で、提案し（路面表示整備）の特定調査を行い、国体開催までに重点的に補修を求めた。

質問　国体関連予算に係る区画線の補修実績及び今後の取り組みについて

答弁　土木部長　令和元年度と二年度の二か年間で約四億六千万円の予算で約六三〇㎞の区画線の引き直しを重点的に実施した。